

## 平成19年度 施策評価表

所属 06080000

環境部 清掃課

施策	1344 ごみの減量							
区分								
対象	区民 439,942人(平成18年4月1日現在) 441,265人(平成19年4月1日現在) 微増傾向							
施策意図	資源の循環利用やごみの発生抑制が進んでいる。							
現状と課題	ごみの発生抑制を中心とした意識啓発や様々な資源回収事業などを実施し、ごみの減量に努めてきたが、それでもまだ大量のごみが排出されている(約128,300t:17年度)。これを踏まえて、なお一層のごみ減量へ向け、18年4月に見直した「一般廃棄物処理基本計画」に基づき、ごみの発生抑制や資源の有効活用に関する具体策を実施していく。							
成果指標	1:1人1日あたりのごみの排出量(1人1日あたりのごみの排出量を減らしていく。ごみの排出量÷区民人口÷365日)目標値630g(27年度) 2:資源の循環利用やごみの減量に努めている区民の割合(マーケティング調査)目標値77.2%(21年度)							
目標達成状況	成果指標1 [g]	予定	平成17年度	平成18年度	平成19年度			
		実績	810.00	770.00	760.00			
	成果指標2 [%]	予定	75.70	75.90	76.30			
		実績	75.70	84.30				
	成果指標3 [ ]	予定						
		実績						
	トータルコスト (千円)	予定		949,376	969,250			
		実績	834,494	862,452				
	施策の位置付け	区の関与度合	区と住民等との協働 区・区民・事業者が協働してごみの減量に取り組むために、区は区民や事業者各々の主体的行動を促す役割を担っていく。					
		区民ニーズへの貢献	大きい 区民一人ひとりのごみ減量に取り組む意識の高まりにより成果が現れる。本施策の事業を通じ、区民の主体的行動を惹起することが可能となり、その貢献は大きい。					
成果向上の必要性		向上必要 区から排出されているごみ量については、近年、増加こそしていないが、ほぼ横ばいに推移しており、今後、なお一層のごみ減量を図っていく必要がある。						
成果向上の容易性		容易ではない。ごみ減量等の意識を区民・事業者に、より浸透させるためには、中・長期的な目標に基づき、その計画・管理・検証を行いながら施策を進めていく必要がある。						
位置付け総合評価	拡充 平成18年4月に今後の葛飾区の清掃事業の方向性を定める「一般廃棄物処理基本計画」の見直しを行い、これに基づき、資源循環型社会の構築に向けたごみの発生抑制や資源の有効活用に関する具体的事業を実施していくことで、本施策の拡充を図っていく。							
施策目的達成のための事務事業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	総合評価	
	134408	集団回収促進支援				90,899	6	
	134401	リサイクル事業(リサイクルコーナー運営)				1,662	5	
	134402	ごみ減量・リサイクル推進協議会				11,443	5	
	134403	環境学習事業(ごみ減量リサイクル)				18,784	5	
	134407	生ごみ処理機等あっせん事業				901	5	
	134409	拠点回収促進				5,380	5	
	134410	かつしかエコショップ事業(事業者資源回収促進事業)				900	5	
	134412	リサイクルセンター維持管理運営				22,650	5	
	134414	資源回収				626,164	5	
134415	建設リサイクル法事務				5,020	5		

【総合評価】6=拡充/5=継続/4=改善/3=再構築/2=縮小/1=廃止・休止/0=今回評価なし

# 平成19年度 施策評価表

所属 06080000  
環境部 清掃課

施策	1344 ごみの減量				
	事業コード	名 称	トータルコスト(千円)	総合評価	
施策 目 的 達 成 の た め の 事 務 事 業	134416	放置自転車リサイクル	1,740	5	
	134417	緑のリサイクル業務委託	47,708	5	
	134418	一般廃棄物処理基本計画推進	7,641	5	
	134419	情報提供事業(ごみ減量リサイクル)	12,825	5	
	134420	普及啓発イベント事業(ごみ減量リサイクル)	8,735	5	

【総合評価】 6=拡充/5=継続/4=改善/3=再構築/2=縮小/1=廃止・休止/0=今回評価なし

# コスト分析表

年 度 平成19年度

所 属 06080000

施 策 1344

環境部 清掃課

ごみの減量

期 間 平成17年度 ~ 平成19年度

(単位：千円)

		NO	平成17年度	平成18年度	平成19年度			
予 定	財源内訳	国庫支出金	(1)		0	0		
		都道府県支出金	(2)		0	0		
		地方債	(3)		0	0		
		その他	(4)		70,413	79,550		
		一般財源	(5)		871,477	882,689		
	直接費	事業費	(6)		876,130	885,154		
	職員人件費	人件費	(7)		64,815	76,540		
		再雇用職員分	(8)		945	545		
		(職員数：賦課)	(9)		7.45	8.90		
		(職員数：配賦)	(10)					
		職員数合計(9)+(10)	(11)		7.45	8.90		
	間接費	(12)		0	0			
	調整額	(加算)減価償却費	(13)		781	781		
		(加算)金利	(14)		0	0		
		(加算)退職給与引当	(15)		6,705	6,230		
		(控除)コスト対象外	(16)		0	0		
		(控除)雑収入	(17)		0	0		
	調整額計 (13)+(14)+(15)-(16)-(17)	(18)		7,486	7,011			
	トータルコスト (6)+(7)+(8)+(12)+(18)	(19)		949,376	969,250			
実 績	財源内訳	国庫支出金	(20)	0	0			
		都道府県支出金	(21)	0	0			
		地方債	(22)	0	0			
		その他	(23)	55,124	82,681			
		一般財源	(24)	767,384	773,775			
	直接費	事業費	(25)	706,993	793,711			
	職員人件費	人件費	(26)	108,935	61,835			
		再雇用職員分	(27)	6,580	910			
		(職員数：賦課)	(28)	12.45	7.45			
		(職員数：配賦)	(29)					
		職員数合計(28)+(29)	(30)	12.45	7.45			
	間接費	(31)	0	0				
	調整額	(加算)減価償却費	(32)	781	781			
		(加算)金利	(33)	0	0			
		(加算)退職給与引当	(34)	11,205	5,215			
		(控除)コスト対象外	(35)	0	0			
		(控除)雑収入	(36)	0	0			
	調整額計 (32)+(33)+(34)-(35)-(36)	(37)	11,986	5,996				
	トータルコスト (25)+(26)+(27)+(31)+(37)	(38)	834,494	862,452				

施策名	ごみの減量
-----	-------

担当課： リサイクル清掃課

### 施策の達成状況

<b>【達成度評価】</b>
成果指標 1：区民1人1日あたりのごみ量 ・ 18年度目標値770g 実績798g 目標未達成
成果指標 2：資源の循環利用やごみの減量に努めている区民の割合 ・ 18年度目標値75.9% 実績84.3% 目標達成
指標 1 が未達成だったものの、前年度実績801gに較べるとやや減少しており、引き続き成果を挙げているといえる。また、指標 2 の実績から、今後のごみの減量に向けた効果がより一層期待できるため、本施策の事業を引き続き実施していく。

### 構成事務事業の次年度方向性

<b>【次年度方向性の考え方】</b>
容器包装プラスチックのリサイクル実施に伴う、ごみの分別方法変更のモデル実施などの資源の有効活用をはじめ、区・区民・事業者の3者による協働では、ごみ減量・リサイクル協議会の活動の充実を図り、また様々な機会を通じた、ごみ減量やリサイクルに向けた区民への普及啓発など、「一般廃棄物処理基本計画」に基づいた具体的事業を推進し、特に指標 1 の19年度目標値「区民 1 人1日あたりのごみ量760g」の達成を図っていく。